

<p>116 (アニメ)</p> <p>めぐみ</p>	<p>25分</p>	<p>1977年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。</p> <p>企画・制作は、政府 拉致問題対策本部。</p>
<p>117</p> <p>失われた いのちへ誓う</p> <p>東日本大震災が教えたこと</p>	<p>20分</p>	<p>東日本大震災は、当たり前の日々を奪い去りました。震災によって多くを失った人たちの声を紹介しながら、私たちの今を振り返り、震災後のこれからをどう生きるのかを共に考える「いのちの教育」教材です。</p> <p>大人だけではなく、中学・高校生の学習教材としても活用できます。</p>
<p>119</p> <p>虹色のビー玉</p> <p>～“偏見” 失いかけた家族の絆～</p>	<p>50分</p>	<p>母を亡くした姉弟・美波と陸は、さびれた漁師町に住む祖父・西島と暮らし始めます。母・夕子は西島の反対を押し切り外国人と結婚。そのため孫たちに何も語ろうとしない西島。</p> <p>祖父と孫たちの距離を縮められるのは…。娘への想いと母への想いを「虹色のビー玉」がつなぐ家族の絆の物語。</p>
<p>120</p> <p>こころの病と 向き合う</p>	<p>25分</p>	<p>うつ病や統合失調症は、誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、病気に対する偏見はいまだ根強く、患者や家族を社会から阻害している場合もあります。</p> <p>実際に罹患した方たちの日常がドキュメントで描かれ、病気の正しい知識・理解と、社会に必要なことが身につく作品です。</p>
<p>124</p> <p>クリームパン</p>	<p>36分</p>	<p>虐待を受ける少年・武史と、派遣切りにあい失業する公佑が、パン屋の店主との関わりを通し、互いにつながる「いのち」を感じていきます。</p> <p>子どもや若者の中で軽く使われる「死にたい」「殺すぞ」といった言葉。大人も含め「いのち」の尊さについて改めて考えたくなるドラマです。</p>

<p>125</p> <p>ほんとの空</p>	<p>36分</p>	<p>弓枝の息子・輝に初めてできた友達は、同じ空オタクで福島から引っ越してきた龍太でした。弓枝は、龍太の母から福島の草木染めをもらいますが、後日、放射能汚染の話聞き捨ててしまいます。</p> <p>偏見・風評が生み出す心の隔たり。輝の行動をきっかけに弓枝は大切なことに気づきます。それは…</p>
<p>127</p> <p>ヒーロー</p>	<p>34分</p>	<p>主人公の行男は、働き盛りのサラリーマン。地域社会と縁を持たなかった行男は、いやいやながら町内会の副会長になったことで、今まで意識しなかった近所の少年や高齢者と出会います。</p> <p>そうした体験の中で、自分が忘れていたことを思い出す行男。本当の「ヒーロー」とは。</p>
<p>133</p> <p>みんな生きている</p>	<p>30分</p>	<p>東日本大震災で母を亡くした小学生の俊太と仁美。父もいなくなり、母の姉・弓子の家に引き取られます。しかし、弓子は生活に追われ二人の気持ちに寄り添うことができません。</p> <p>ある日、二人が登校していないと学校から連絡が…。被災地、福島県浜通を舞台に心の回復と再生を描いた作品。</p>
<p>134</p> <p>家庭の中の人権</p> <p>生まれる子へ</p>	<p>25分</p>	<p>「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話から、育児、介護、DVなど私たちの身の回りにおける人権問題がクローズアップされます。</p> <p>家庭の中で、互いの人権の尊さについて語り合い、気づき、行動し、次世代に伝えていくことの大切さを描きます。</p>
<p>135AB</p> <p>ハンセン病問題</p> <p>～過去からの証言 未来からの提言～</p>	<p>20分</p>	<p>ハンセン病の問題に関する歴史的な経緯、当時の社会情勢、問題の本質などについて、貴重な証言と解説を中心にわかりやすくまとめられた、法務省人権擁護局企画の教材です。</p> <p>「人権教育向け20分」と「一般向け20分」の2つの内容で構成されているので、目的に合わせて活用できます。</p>

<p>140AB</p> <p>すべての人々の 幸せを願って ～国際的視点から考える 人権～</p>	<p>35 分</p>	<p>国連の人権への取り組み、女性の人権、子どもの人権、障がいのある人の人権、外国人の人権をテーマにして、世界では今、何が課題となり、すべての人の人権を大切にするために何が必要なのかを、わかりやすく解説しています。</p> <p>法務省人権擁護局が企画した教材です。</p>
<p>141</p> <p>家庭の中の人権</p> <p>カラフル</p>	<p>31 分</p>	<p>聡は商社に勤務し妻と2人の子どもと暮らしています。気がかりなのは、会社を辞めてフリーターを続けている息子と、まだ就活中の娘のこと。就職、結婚、他人の噂など、両親と子どもとの会話の中にある人権の課題。</p> <p>多様性を認めるとは何かを、どこにでもある家族の物語が投げかけます。</p>
<p>145</p> <p>わっかカフェへ ようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～</p>	<p>28 分</p>	<p>街の小さな「わっかカフェ」は心のより所。そこに集う人々をめぐって描かれた3つのドラマ。インターネットによる人権侵害、高齢者の人権、外国人の人権について考えます。</p> <p>また、それぞれのドラマには専門家によるわかりやすい解説もあり、幅広い場面で活用することができます。</p>
<p>147</p> <p>防ごう子どもの虐待 ～日常の子育てから 考える～</p>	<p>25 分</p>	<p>深刻な社会問題となっている児童虐待。その芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが当事者になる可能性があるともいえます。</p> <p>作品は、ドラマとともに監修の片倉昭子さんの解説で、日常の子育ての中で起こりがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いています。</p>
<p>149</p> <p>親愛なる、あなたへ</p>	<p>37 分</p>	<p>仕事一筋の弘務は、地域のことにまったく無関心。ところが、定年目前に、妻・陽子を脳梗塞で亡くします。一人になった弘務は、妻が世話をしていたチヨノと一緒にボランティアをしていた定食屋の夫婦と知り合い、妻の活動の意味を知ります。そして、陽子が残した手紙には…。</p>

<p>159</p> <p>あした咲く</p>	<p>36分</p>	<p>独身で会社員の妹・茜と、専業主婦の姉・翠。生き方の異なる姉妹は、それぞれの立場ならではの悩みと葛藤を抱えていて対立することも。</p> <p>ある日、2人は亡き母が地域でしていた活動を知り、別の視点や価値観を知ります。「幸せ」は十人十色。誰もが自分の花を咲かすとは…。</p>
<p>156</p> <p>君がいるから</p>	<p>33分</p>	<p>奏は、日頃から母親の厳しい制限を受け、自信が持てず悩んでいました。しかし、コンビニのアルバイトをきっかけに、店員の中井や民生委員の武田たちとのふれあいが生まれ、奏は自分に希望を持ち始めます。</p> <p>悩んでいる子どもや若者が「すぐ隣」にいることに気づく大切さを投げかけた作品。</p>
<p>175</p> <p>カンパニユラの夢</p>	<p>36分</p>	<p>「超高齢化社会とひきこもり（8050問題）」がテーマです。この問題は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、お互いに助け合うことに地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。</p>
<p>176AB</p> <p>ハンセン病問題を 知る</p>	<p>35分</p>	<p>隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、解説とともに収録しています。</p> <p>正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えます。</p>
<p>181</p> <p>夕焼け</p>	<p>35分</p>	<p>ヤングケアラー（本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども）本人やその家族または周囲の人々が、これまでの意識について見つめ直し、だれもが互いの人権を尊重する中で、それぞれの自己実現の達成へ向け歩んでいける社会を描いています。</p>

<p>183</p> <p>いわれなき誹謗中傷との闘い</p> <p>スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権</p>	<p>20分</p>	<p>ネット上の誹謗中傷により、命を落とす人もいますし、社会的にたいへん大きなダメージをうけることもあります。</p> <p>この作品は、20年以上にもわたって誹謗中傷を受けながらも、それと闘い、乗り越えられた人の実例をもとに現実と対策、人権的な課題を考えます。</p>
---	------------	---



【同和問題】

<p>36AB</p> <p>三月三日の風</p> <p>水平社誕生物語</p>	<p>45分</p>	<p>全国水平社創立者の1人、西光万吉は奈良県柏原村西光寺で生まれました。部落出身のために、学問の道も、画家への道も閉ざされ、絶望して故郷へ帰ってきた彼を励ましてくれたのが、親友の阪本清一郎でした。</p> <p>清一郎たちとともに水平社をつくり、部落解放運動を始める物語です。</p>
<p>129AB</p> <p>同和問題</p> <p>～過去からの証言、 未来への提言～</p>	<p>61分 19分</p>	<p>同和問題に関する歴史的経緯、社会情勢、問題の本質について、証言や解説を中心にわかりやすくまとめられた、法務省人権擁護局企画の教材です。</p> <p>「人権教育向け61分」と「一般向け19分」と2つの内容で構成されていて、目的に応じて活用することができます。</p>
<p>136</p> <p>あなたに伝えたいこと</p>	<p>36分</p>	<p>主人公の真央は、結婚話が進む中で、母も祖母も同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。</p> <p>恋人、友人、家族との関わりから、ネット上の情報に左右されることなく、実際に人とふれあい、互いを正しく知る大切さを、明るい希望とともに伝える作品。</p>

<p>189</p> <p>破戒</p>	<p>119分</p>	<p>原作は島崎藤村の不朽の名作。「なぜ自分の故郷を語れない、なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。」と自らの出自に苦悩し、最後にはある決断をくだす主人公・丑松。丑松の誠実さと“祈り”が多くの人々の感動と共感を呼んだ映画です。</p> <p>(2022年上映)</p>
<p>190</p> <p>大切なひと</p>	<p>34分</p>	<p>主人公・愛依は友人の大哉が各地を訪れて、その歴史を紹介する動画が掲載されるのを楽しみにしていた。その動画は、かつての被差別部落を訪れ、過激な編集を施したものだ。愛依の差別や偏見を煽る動画を消してほしいとの願いを受けて削除するが、第三者によって拡散されてしまう…。</p>



【外国人】

<p>151AB</p> <p>外国人と人権</p> <p>違いを認め、共に生きる</p>	<p>33分</p>	<p>日本を訪れる外国人も日本で暮らす外国人も増える中、様々な課題も浮かび上がっています。その中には、文化や生活習慣の違いから生まれる誤解・偏見も。家庭や職場での問題をドラマ化し、互いに認め合い共にくらすために何が大切かを考える、法務省人権擁護局企画の教材です。</p>
<p>164</p> <p>サラーマット</p> <p>～あなたの言葉で～</p>	<p>36分</p>	<p>訪問介護事業所の責任者である珠美は、職場に新しく入ったフィリピン人のミランダに様々な面で「違い」を感じ面倒な存在だと思っていました。ある日、サービス利用者が飼っているインコが逃げ出す事件が。対立と交流を通して、珠美は「違い」は問題解決の糸口になることを学びます。</p>



【高齢者】

<p>102</p> <p>老いを生きる</p> <p>—今日もどこかで高齢者のサインが!—</p>	<p>35分</p>	<p>徘徊(はいかい)癖のある認知症の義母・富江の介護に悩む貴子が、地域包括支援センターや地域の人々の援助を受けながら、優しさを取り戻していきます。</p> <p>明日はわが身かも知れない認知症の問題を、自分のこととして考えさせられるドラマです。正司歌江さんや坂田利夫さんらが好演。</p>
<p>137</p> <p>ここから歩き始める</p>	<p>34分</p>	<p>認知症の親を持つ主人公と、その家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしが描かれます。</p> <p>高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉え、家族や地域で考えるきっかけになるドラマです。平成28年度最優秀作品賞受賞。</p>
<p>153</p> <p>認知症と向き合う</p>	<p>30分</p>	<p>認知症の文乃は夫と死別後、娘夫婦と孫娘・樹里と同居しています。しかし、ひどい物忘れや徘徊、家族への暴言や暴力といった症状を現す文乃に振り回されてばらばらになってしまう家族。そんなある日、樹里は文乃のノートに気づきます。そこには家族の誰も気づかなかった文乃の思いが…。</p>
<p>128</p> <p>なぜ、介護者が虐待を</p> <p>介護者支援から高齢者虐待のない社会へ</p>	<p>24分</p>	<p>高齢者に対する家族の虐待が増えています。介護を担う人が、精神的・肉体的に追い詰められた末に起こることが多いといいます。この作品は、高齢者虐待の事例を再現ドラマで示しながら、施行された関係法令も取り上げ、悩みを抱えた介護者を支援する大切さを伝えます。</p>



<p>142</p> <p>防ごう高齢者虐待</p> <p>日常の介護から考える</p>	<p>28分</p>	<p>妻の介護をする夫のケース（老老介護）、母を介護する娘のケース（認知症介護）、母の介護をする息子のケース（介護と仕事）をドラマで描き、どんな場面で虐待が起こるのかを示します。そして、虐待の発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解することを目的に制作されています。</p>
---	------------	---



【障がい】

<p>113</p> <p>障害のある人とのふれあいと人権</p> <p>—今まで声をかけられなかったあなたへ—</p>	<p>23分</p>	<p>街で、視覚障がいのある人や聴覚障がいのある人や身体障がいのある人に出会った時、どのように行動したら良いのでしょうか。実際の場面を見ながら、それぞれの障がいの特性や障がいのある人の気持ちと、私たちにできることを示し、福祉と人権について考える作品です。</p>
<p>121</p> <p>がんばれ まあちゃん</p>	<p>48分</p>	<p>生まれつき耳が聞こえず、話もできないまあちゃん（5歳）と、そばで見守り支えている姉・かよ、両親そしておばあちゃん。</p> <p>ある日、家族で話し合い、まあちゃんを施設に行かせる事にします。そんな矢先、おばあちゃんが病気で倒れてしまいました。心温まるふれあいを描いたドラマ。</p>
<p>126</p> <p>秋桜～コスモス～の咲く日</p>	<p>34分</p>	<p>特別養護老人ホームの新人介護士直也は、発達障害がありコミュニケーションをとることが苦手。そのため主任介護士のちひろは困りますが、入居者の乾はなぜか直也に心を開きます。ある日、乾は直也とともに外出したところ、倒れて意識を失います。激しく叱責するちひろ。ところが…。</p>

<p>152</p> <p>風の匂い</p>	<p>34分</p>	<p>正人が働くスーパーに、知的障がいのある歩が配属されます。正人は、小学校時代の親友・歩だと気づきますが、余計な仕事を増やされたくないと思いいい出せません。大人になった二人を隔てる障がいのある者となない者との壁。そんな正人があることをきっかけに動き出します。それは…。</p>
<p>157</p> <p>壁のないまち</p>	<p>35分</p>	<p>交通事故で車いす生活となった俊彦。会社から戦力外通告を受けます。日々のイライラから妻・奈緒子にきつく当たってしまう俊彦。しかし、奈緒子から出た言葉は…。障がい者を排除する「心の壁」をなくし、ともに生きる「ユニバーサル社会」実現の大切さを投げかけた作品です。</p>
<p>160</p> <p>わかってください 手をかしてください ～障がい者からの メッセージ～</p>	<p>33分</p>	<p>障がいのある方々が、地域で自分らしく生活するために、私たちにできることは？ さまざまな障がいについて、それぞれの特徴と支援のあり方が、本人や家族のメッセージによって説明されています。人権教育講座「山びこ」（2018年11月）で上映し、「これまでにない内容でわかりやすい」と好評だった作品。</p>
<p>161</p> <p>障害のある人と人権 ～誰もが住みよい社会 をつくるために～</p>	<p>32分</p>	<p>障がいのある人が直面する問題として、高校への進学事例、盲導犬を連れた視覚障がい者に対する入店拒否事例、障がいのある人の意向が尊重されない事例を紹介し、障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会をつくるために、私たちに何ができるのかを考える作品です。</p>



【性的マイノリティ】

<p>130AB</p> <p>あなたがあなたらしく生きるために</p> <p>性的マイノリティと人権</p>	<p>30分</p>	<p>LGBTなど性的マイノリティへの認知度は高まってきました。しかし、今も学校や職場で生きづらさを感じている当事者は少なくありません。この教材は、性的マイノリティへの理解と現状、そして誰もが自分らしく生きるために大切な人権について学べる入門編です。</p>
<p>154</p> <p>誰もがその人らしく</p> <p>—LGBT—</p>	<p>20分</p>	<p>この作品は、会社員の沙奈を主人公にして、気づかなかったLGBTなど性的マイノリティの人たちが見えてくるストーリー。①LGBTへのハラスメント、②性のグラデーション、③カミングアウト、④誰もがその人らしくの4部構成で、わかりやすい解説がついています。</p>
<p>158</p> <p>トランスジェンダー</p> <p>～未悠・彩・歩夢～</p>	<p>27分</p>	<p>LGBTなど性的マイノリティについて、知っているようで実はまだ理解できていない面もあるのでは。作品は、トランスジェンダー3人の本音トークとドキュメントで構成されていて、私たちの周りで普通に暮らすトランスジェンダーの真の姿や家族・友人の思いが描かれています。</p>
<p>184</p> <p>パパは女子高生だった！</p> <p>～前田 良～</p>	<p>28分</p>	<p>女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子を持つ父親となった前田良さん(37)。二人の子を初めて戸籍上で実子と認めさせました。赤い服が嫌いでスカートを履くのがイヤ、女の子が好き、…そして初潮に傷つく。男の子として生きたいと強く願った少女のころからの人生が語られます。</p>
<p>185</p> <p>バースデイ</p>	<p>37分</p>	<p>この物語の主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。</p>

【ハラスメント】

<p>170</p> <p>コール& レスポンス</p>	<p>24分</p>	<p>ハラスメントを防ぐためには、十分なコミュニケーションをとると同時に、相手の心を十分に押し量り、思いを聞いてみるのが大切です。また、ハラスメントを受けていると感じたら、たとえ小さくとも声をあげ、それを相手に伝えることも大切です。</p>
<p>171</p> <p>「違い」を 「力」にするために —職場のコミュニケーションのヒント—</p>	<p>26分</p>	<p>お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのか、事例をとり上げながら考えます。</p>



【企業向け】

<p>144</p> <p>なぜ企業に人権 啓発が必要なの か</p>	<p>22分</p>	<p>ハラスメント、障がいのある従業員、外国人従業員、性の多様性...など、企業の人権課題について考えるヒントが、日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成されています。日々の業務の中で何ができるのか、改めて見つめ直せる教材です。</p>
<p>169</p> <p>企業と人権</p>	<p>40分</p>	<p>今、企業は人権をはじめとするさまざまな社会的責任について、率先して対応していくことが求められています。企業がなぜ人権に取り組む必要があるのか、企業が関わる主な人権課題にはどのようなものがあるのか等について、分かりやすく解説しています。</p>

178 許すな 「えせ同和行為」	36分	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為をさします。本 DVD では、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。
179 企業活動に 人権的視点を	104分	『「企業の社会的責任と人権」セミナー』において、CSR（企業の社会的責任）」と人権課題に積極的に取り組まれている企業の実践事例の発表の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめました。
180 企業活動に 人権的視点を②	97分	地球環境への関心が広がり、国際的な人権意識の高まりなど、企業が果たすべき社会的責任（CSR）が問われる時代になってきました。本 DVD では、どのように取り組むことが企業内外の人のためになり、地域や環境のためにもなるのか、先進的な取組事例を紹介しています。

【園・学校向け】

139（アニメ） ごめんね、 ミーちゃん	12分	幼稚園児の大樹は、飼っている子猫のミーちゃんが大好き。しかし、大樹は遊んでいるつもりでも、ミーちゃんには乱暴なことも。子猫と幼児が繰り広げる不思議な物語を通して、かけがえのない命の重さ、人の気持ちを考えることの大切さに気づかせる作品です。
155（アニメ） むしむし村の 仲間たち みんないいところなんだよ	13分	外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクターたち。時には、違いが原因でトラブルもありますが、誰にも苦手なこともあれば、得意なこともあることに気づいていくむしむし村の仲間たち。互いを認め合い、助け合うことを学べる作品です。

<p>106 (アニメ)</p> <p>鬼っ子とゆきうさぎ</p>	<p>22分</p>	<p>中学1年生が書いた愛の童話。鬼の子は、人間の女の子ユキに大切なものを届けようと夜明けの風の中を走ります。鬼の子と人の子との不思議な友情。私たちが、ともすれば忘れそうになる、やさしさ、思いやり、家族の温もりが心に響く作品です。シカゴ国際児童映画祭で2位を受賞。</p>
<p>166 (人形劇)</p> <p>大きなかぶ</p>	<p>14分</p>	<p>おじいさんのまいた種が、大きな大きなかぶになりました。おじいさん、おばあさん、まご、いぬ、ねこ、ねずみ、みんなで「うんとこしょ、どっこいしょ」。ロシア民話を人形劇を用いて映像化。ゆったりとしたテンポで、力を合わせることの大切さがユーモラスに描かれています。</p>
<p>167 (アニメ)</p> <p>花いっぱいになあれ</p>	<p>12分</p>	<p>子どもたちが風船にお花の種をつけて飛ばしました。風船は町をこえて子ぎつねのコンのいる山の中の野原に下りました。やがて芽が出てぐんぐん伸び、大きなひまわりの花を咲かせました。松谷みよ子の名作を忠実にアニメ化。美しい情景ややさしいコンの気持ちの的確に表現されています。</p>
<p>165 (アニメ)</p> <p>ごんぎつね</p>	<p>19分</p>	<p>「『ごん、お前だったのか。いつもくりをくれたのは。』ごんは、ぐったり目をつぶったまま、うなずきました。兵十は、火なわじゅうをばたりと、とり落としました。」新美南吉の代表作。ごんの真心は死によってしか兵十に伝えられませんでした。心を通じ合う大切さと難しさを考えさせる作品です。</p>
<p>132 (アニメ)</p> <p>ココロ屋</p>	<p>25分</p>	<p>いたずらや失敗ばかりしてしまうヒロキ。先生に「心を入れ替えなさい」と叱られます。そのあと、ヒロキの前に現れたのはなんと心を取り替えてくれる「ココロ屋」でした。いろいろココロを取り替えてくれますが、最後に選んだのは…。自分を見つめ直すきっかけとなる作品。</p>

<p>112</p> <p>えっ！これも人権？</p> <p>ー4コマ劇場よりー</p>	<p>31分</p>	<p>「人権」＝「〇〇」。あなたは、人権という言葉はどう置き換えますか？誰にとっても大切な人権。それは、「愛」でもあり「やさしさ」でもあります。作品は、子どもや暮らしや会社の中で、ありがちな風景を取り上げ人権はけっして難しいものではないことを伝えます。</p>
<p>143（人形劇アニメ）</p> <p>おこりじぞう</p>	<p>28分</p>	<p>1945年、広島に住むひろちゃんは「わらいじぞう」と呼ばれるおじぞうさんと大の仲良し。8月6日は、ひろちゃんの6歳の誕生日でした。柱時計が8時15分をさした瞬間、ピカッと光り大爆発が。「おかあさん…みず…」とつぶやくひろちゃん。その時わらいじぞうは…。</p>
<p>115（アニメ）</p> <p>いわたくんちのおばあちゃん</p> <p>～ぼく、戦争せんけんね～</p>	<p>20分</p>	<p>主人公の「ぼく」には、いわたくんという友だちがいます。いわたくんのおばあちゃんは家族で写真を撮るのをなぜか嫌がりますが、そこには深いわけがありました。広島原爆にまつわる実話をもとにした絵本『いわたくんちのおばあちゃん』をアニメ化した作品です。</p>
<p>168（アニメ）</p> <p>ちいちゃんのかげおくり</p>	<p>17分</p>	<p>「かげおくり」という遊びをちいちゃんに教えてくれたお父さんも出征してしまいました。そして、初夏の夜の空襲でちいちゃんはお母さんとはぐれて一人ぼっちになってしまいます。あまんきみこ作の感動的なお話をアニメ化。戦争が奪った小さな女の子の命、その悲しさが伝わってきます。</p>
<p>148（アニメ）</p> <p>はとよひろしまの空を</p>	<p>21分</p>	<p>太平洋戦争末期、かわいがってくれた飼い主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残されためすの子鳩。やがてやさしいおす鳩に出会い、ともに卵をかえそうとします。焼け野原になった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通して、命とは、平和とは何かを問いかける作品です。</p>

<p>58 (アニメ)</p> <p>消えさらぬ傷あと 火の海・大阪</p>	<p>25分</p>	<p>1945年、人々を襲ったあの恐ろしい大阪大空襲を忘れることはできません。人々は逃げまどい、多くの尊い命が奪われました。戦争体験者の声と実話をもとに、当時の様子と、私たちが平和のために引き継ぐべきことを描いた作品です。</p>
<p>163 (アニメ)</p> <p>アゲハがとんだ —1945・3・10 東京大空襲—</p>	<p>20分</p>	<p>国民学校6年生のサトルは、同級生たちと学童疎開をしていました。卒業式のため東京に戻って間もなく大空襲に見舞われます。妹も友人も幼なじみの良子も命を落としました。虫好きのサトルは、疎開先から持ち帰ったアゲハのさなぎを、羽化を楽しみにしていた良子の手に乗せてやります。</p>
<p>123 (アニメ)</p> <p>桃色のクレヨン</p>	<p>28分</p>	<p>いとこの雪と8年ぶりに再会する小学生の美奈子。楽しみにしていましたが、一つ上の雪は幼く見え、知的障がいがあることを知ります。とまどう美奈子。ある日、雪が桃色のクレヨンを探していました。その色には、雪が大切にしている美奈子との思い出がありました。</p>
<p>138</p> <p>あの時、アイツの声が 聞こえていれば…</p> <p>聲の形 こえのかたち</p>	<p>30分</p>	<p>2015年版「このマンガがすごい！」で1位を受賞した感動作「聲の形」(『週刊少年マガジン』)。これが人権学習用教材ドラマとして生まれ変わりました。「いじめ」や「障がい者との共生」など難しいテーマを、自然に考えることができる作品です。</p>
<p>122</p> <p>見上げた青い空</p>	<p>34分</p>	<p>中学生や高校生を対象に、いじめ問題について話し合ったり考え合ったりできるように制作されたドラマです。また、ドラマに登場した役者たちが、いじめについて、それぞれの立場で語る部分があり、いじめ問題の解決に向けた糸口も盛り込まれています。</p>

<p>118</p> <p>ネットと上手につき会おう</p> <p>ケータイトラブルから 身を守る</p>	<p>25分</p>	<p>ネットに詳しい噺家の柳家三之助さんの軽妙な語り口とケータイ世代の中学生とのやり取りを通じ、ネットのトラブルを防ぎ、そして、インターネットを有効に活用していくためのヒントを提供します。再現ドラマや図表なども交え、わかりやすく解説されています。</p>
<p>146</p> <p>未来</p> <p>—SNSの罠—</p>	<p>18分</p>	<p>いじめ、危険ドラッグ、違法サイトへのアクセスなど、その温床となっているのが、SNSともいわれています。作品は、現役の中学生・高校生が、問題となる要因や自分たちがとるべき対応について、体験を交えながら話し合い、問題解決のヒントを探っていきます。</p>
<p>150AB</p> <p>インターネットと人権</p> <p>加害者にも被害者にもならないために</p>	<p>30分</p>	<p>SNSで知り合った友達に自撮りの写真を送信したら写真を口実に脅迫されたり、ネットに上げた写真から住所を特定されて被害にあったりなどの事件が起きています。実際の事件をドラマ化し、ネットの危険性と安全な利用法をわかりやすく解説した作品です。</p>
<p>114</p> <p>知っていますか</p> <p>薬物の真実</p> <p>体験者は警告する</p>	<p>21分</p>	<p>この作品は、薬物体験者自身が、薬物乱用の本当の怖さを伝えます。「周りに迷惑さえかけなければ個人の自由」「薬物は意志が強ければやめられる」など、誤った情報や好奇心で手を出すとどんな結果を招くのか、薬物の真実が説得力ある言葉で投げかけられます。</p>
<p>131AB</p> <p>未来を拓く</p> <p>五つの扉</p> <p>～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読～</p>	<p>36分</p>	<p>全国中学生人権作文コンテストの入賞作品から5編の作文を朗読し、イラストやアニメーションで紹介します。どれも身の周りで起きた出来事や自分の体験をもとにした作品です。中学生自身の言葉の中に、明日への一歩につながるものがあるのでは。</p>

<p>162 (アニメ)</p> <p>わたたちが伝えたい、大切なこと</p> <p>—アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品—</p>	<p>31分</p>	<p>全国中学生人権作文コンテストの入賞作品を原作とした3つのアニメ、「差別のない世界へ」「手伝えることはありますか」「共に生きるということ」で構成されています。「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えるきっかけになる作品です。</p>
<p>172 (アニメ)</p> <p>盲導犬クイールの一生</p>	<p>25分</p>	<p>生まれてすぐ盲導犬になることを運命づけられたラブラドル・レトリバーのクイール。その成長と、親代わりとなる人間たちや視覚障がい者との出会いと別れを、優しいタッチで描いたハートフル・ヒューマンドラマです。</p>
<p>173 (アニメ)</p> <p>とべないホタル</p>	<p>17分</p>	<p>羽が縮んで生まれたために飛べないホタルがいました。彼を励まし、助ける仲間のホタルたち。足の不自由な妹のためにホタル採りにやって来た姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれ合いを通して、やさしさと思いやりの大切さが伝わる作品です。</p>
<p>174 (アニメ)</p> <p>きつねのかんちがい</p>	<p>28分</p>	<p>井戸に落ちて死んでしまった子ぎつねを、村の若者は手厚く葬りました。ところが、きつねたちは、若者が殺したのだとかんちがいして、若者の田の苗を全部引き抜いてしまいました。村人たちは、きつねに対する憎しみを募らせますが、若者は…。</p>
<p>177</p> <p>インターネット</p> <p>・ゲーム依存を考えよう</p>		<p>単にインターネットやゲームを遠ざける、依存問題を「見ない、聞かない、話さない」ということでは本質的な問題解決には至りません。「依存ってどういうことだろう」「なぜ、のめり込むのだろう」「依存に陥らないために出来ることは何だろうか」などを考える機会の一助として。</p>



<p>182</p> <p>スマイリーキクチと考えるインターネットの正しい使い方(小学生向け)</p>	<p>16分</p>	<p>インターネットの誹謗中傷の被害者にも加害者にもならないためにどうすればよいのかを、これを見た小学生が自分自身で考えるきっかけになると思います。ネットを上手に使うことは、これからの社会で生き抜いていくための大きなカギになります。その一助となる作品です。</p>
--	------------	--

